

2021 年度都道府県コーチデベロッパー講習会 開催要項

○開催の趣旨

2019 年度に改定されたコーチライセンス制度における C 級コーチ養成講習会、D 級コーチ養成講習会を担当するコーチデベロッパーを養成する講習会を開催します。

JBA では、全てのバスケットボールプレーヤー、指導者に共通する柱となる指導指針（案）として以下のことを考えています。

柱となる指導指針（案）

1. バスケットボールが大好きなプレーヤーを育てよう。
2. ゲームを楽しむことができるプレーヤーを育てよう。
3. フェアプレーの精神を理解し、あらゆる面でフェアな行動を心がけるプレーヤーを育てよう。
4. 主体的にバスケットボールに取り組み、自ら考え、判断することができるプレーヤーを育てよう。
5. トライ&エラーを恐れず、自ら挑戦し、工夫し、努力するプレーヤーを育てよう。
6. コミュニケーション能力の高いプレーヤーを育てよう。
7. プレーすることに誇りを持つプレーヤーを育てよう。
8. バスケットボールに関わる、様々な人々を尊重するプレーヤーを育てよう。

こういったプレーヤーを育成するためには、コミュニケーションによってプレーヤー自身の問題解決能力や主体性をはぐくむことができるコーチ、そして、プレーヤーの意思や個性を尊重することができる人間性を有したコーチを養成する必要があります。技術や戦術に関する知識があっても、それを一方的に伝えるだけの指導では、問題解決能力が高く主体性のあるプレーヤーを育てることはできません。指導者のコミュニケーション能力が低く、プレーヤーの意思や個性を尊重することができなければ、暴言暴力など様々な問題を引き起こす可能性もあります。

また、「人間力をなくして競技力向上なし」という言葉があるように、プレーヤーの人間力向上が土台としてあり、その上に競技力の向上があると考えています。プレーヤーの人間力を向上させるためには、指導者自身が人間力を有することが必要です。その上で、バスケットボールプレーヤーのあり方やスポーツ、バスケットボールの価値を伝えることができなければいけません。つまり、指導者自身がインテグリティの精神を理解し、それを体現することが必要なのです。

そこで、このような指導者を養成するために、JBA ではコーチ育成者をコーチデベロッパーと呼ぶこととし、コーチデベロッパーを養成した上で、全国のコーチ養成に取り組むこととしました。

コーチデベロッパー（Coach Developer）とは、「単に経験豊かなコーチやコーチングの知識の伝道者で

あるだけでなく、ポジティブで効果的なスポーツ体験をすべての参加者に提供するために、コーチを育成・支援し、コーチが知識やスキルを常に磨いて向上させることを促すトレーニングを受けた人」（『国際コーチデベロッパーフレームワーク』）と定義されています。つまり、コーチデベロッパーとは「コーチの学びを支援し、育成する人」と言えます。

コーチデベロッパーの役割は、「（１）ファシリテーション、（２）〔資格制度上でのコーチの〕評価、（３）メンタリング、（４）プログラム作成とその評価、（５）リーダーシップと個人の能力開発」など多岐に渡りますが、JBA では、主にファシリテーションのスキルを向上させることで、現行の講習会をよりいっそう充実させ、コーチのよりよい学びの支援をすることを目指します。

よりよいコーチデベロッパーがコーチの学びを支援することができ、よりよいコーチを育成することができれば、よりよいプレイヤーの育成につながっていく、そんな世界をJBAは創りたいと考えています。

○都道府県コーチデベロッパーの役割

・JBA 公認 C 級・D 級コーチ養成講習会を担当する。（コーディネーター、講師、ファシリテーター）

※コーチデベロッパーは、JBA 公認 C 級・D 級コーチ養成講習会のカリキュラムにしたがって講習会を展開していきます。

※従来の講習会は一方向の知識伝達が中心のプログラムでしたが、新たな C 級・D 級コーチ養成講習会は受講者参加型・双方向型（受講者が考える、対話する、実践する、発表して共有する等）のプログラムとなります。

○都道府県コーチデベロッパーに必要な資質・能力

1. コーチングに関する学びを継続して実践する意識及びスポーツを通じた人材育成（成長）とコーチングに対する熱意を有していること。
2. 都道府県コーチ養成講習会担当者を継続して行い、実践力を高めることが可能であること。
3. 高い倫理観及び人間力（思慮深さ、知恵、規範意識、勇気、忍耐力、情熱、思いやり）を有していること。
4. コミュニケーション能力が高いこと。
5. 自分以外の考え方を受け入れる柔軟性、豊かな発想力、臨機応変な対応力を持っていること。
6. パワーポイントや映像を利用した講習が実施できること。

○都道府県コーチデベロッパーの受講条件

都道府県コーチデベロッパーには、上記の「必要な資質・能力」に加え、以下の条件が必要となります。

1. 通算5年以上のバスケットボールに関する指導歴またはコーチ育成経験があること。
2. JBA 公認 B 級以上のコーチライセンスを保持していること^{※1}。
3. コーチデベロッパー講習会の開催趣旨、コーチデベロッパーの役割を理解し、コーチデベロッパーとして活動する意思があること

○開催日時

2021 年度より、対面講習開催前に、オンライン講習を実施いたします。

【オンライン講習】

2021 年 8 月 26 日（木）19 時 00 分～21 時 00 分（予定）

【対面講習】

2021 年 9 月 4 日（土）10:00～19:00（9:40 開場・受付開始）

2021 年 9 月 5 日（日）8:30～17:30

※全日程の参加が必要となります。

※対面講習のスケジュールは変動する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※第 2 回の募集については、別途ご案内いたします。

○会場

未定

※確定次第ご案内差し上げます（7 月中旬を予定）

○定員

40 名

※ファシリテーション実践を受講者全員に 1 回以上行っていただくため、定員を設けさせていただきます。

¹※ 本講習会までに JBA 公認 B 級コーチ養成講習会受講修了予定者も可とします。

○受講料

19,800 円（税込）

※コーチデベロッパーは講習会を担当することによって一定の謝金が支払われることから受講料は本人負担とします。

○テーマ・プログラム・アウトカム

テーマ：「学習者中心的な学び」を目指す

プログラム：

- ・C級・D級コーチ養成講習会ワークブックの内容について
- ・ファシリテーションプロセスと基本スキル
- ・C級・D級の内容に沿ったファシリテーション実践とレビュー
- ・ファシリテーションスキル
- ・よりよいファシリテーションを実施するためのツール・知識
- ・コーディネーターとしてのアクションプラン

アウトカム（成果）：

「この講習会が終了するときに、受講生は（１）コーチの学びを促進するファシリテーションをするために必要な知識・スキルを理解することができ、（２）C級・D級のファシリテーションを実践することができるようになる」

○講師（ファシリテーター）

JBA 技術委員会・指導者養成部会

○事前課題

- ・C級・D級ワークブックの事前課題をしておくこと（事前課題は受講者に後日お送りします。）
- ・C級・D級講習会の映像を視聴すること（映像は受講者に後日展開します）。
- ・コーチデベロッパーブックレットを熟読すること（ブックレットは受講者に後日お送りします）。
- ・セッションプラン（いわゆる講習会の指導案）を作成すること（作成要領は受講者に後日お送りします）。
- ・「バスケットボール指導教本 改訂版 上巻・下巻」を十分理解しておくこと。

○認定基準

本講習会の修了認定にあたっては、以下のコンピテンス（能力）を基準とする。

1. C級・D級コーチ養成講習会を円滑にできるファシリテーションスキルを身に付けている。
2. バスケットボール指導者に必要な「人間力」を伝えることができる。
3. C級・D級コーチ養成講習会受講生の評価が適切にできる。

○持ち物

- ・筆記用具 ・屋内シューズ ・実技のできる服装 ・保険証 ・バスケットボール指導教本改訂版 上下巻
- ・C級, D級ワークブック ・作成したセッションプラン ・コーチデベロッパーブックレット

○費用・宿泊について

- ・往復交通費と宿泊代はJBAにて負担いたします。宿泊方法、精算方法は後日参加者にご案内いたします。
- ・以下の基準を満たす場合のみ、後泊分をお支払いいたします。
なお、上限は8,000円/泊となります。
自宅最寄駅到着時刻：23時以降となる場合
後泊については、原則各自ご手配ください。
- ・旅行代理店の宿泊パックプランで宿泊を含む旅費が通常の往復交通費と比較して割安である場合は、宿泊パックをご利用いただいても構いません。その場合はパック料金をお支払いいたします。

○コーチデベロッパーの認定・登録について

- ・今回の講習会を修了し、コーチデベロッパーとして認定された場合には2021年度に登録手続きを行っていただきます。
- ・コーチデベロッパーの登録料は3,000円/年となります。ただし、2021年度^{※2}までは移行期間として、登録料は徴収いたしません。（2022年度^{※2}からはコーチデベロッパーの完全実施、謝金基準の統一を予定）
- ・コーチデベロッパーの認定有効期間は5年間とし、コーチデベロッパーの更新のためには再度講習会の受講が必要になります。また、コーチデベロッパー有効期間の5年間のうちに、2年連続して講習会の担当がなかった場合には、資格は失効します^{※2}。

2※ 新型コロナウイルスの影響を考慮し、内容を変更する可能性があります。変更した場合、ご連絡いたします。

○都道府県開催のC級・D級コーチ養成講習会について

- ・2019年度以降、C級・D級コーチ養成講習会を都道府県協会にて担当していただきます。（E級コーチ養成講習会はeラーニングにて受講）
- ・認定されたコーチデベロッパーがいない都道府県においては、近隣都道府県またはJBAにコーチデベロッパーの派遣を依頼し、講習会を計画・開催することとします。
- ・2022年度^{*2}以降のC級・D級コーチ養成講習会は、必ず認定されたコーチデベロッパーが講習会を担当することとします。2021年度^{*2}までは移行期間とし、認定されたコーチデベロッパーが講習を担当できない場合には、認定されたコーチデベロッパーから役割、内容を伝達した上でコーチデベロッパー以外が講習を担当することも可とします。また、講習の各コマに別に講師をあてながら、コーチデベロッパーがファシリテート役に回ることも可といたします。
- ・本講習会を修了し、認定されたコーチデベロッパーは、「C級・D級講習会（オンラインコース）」も担当することができます。

○本件に関する連絡先

JBA 基盤強化グループ 育成普及・指導者養成担当 鈴木・関根・中瀬

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-27 後楽鹿島ビル6階

TEL 03-4415-2044（指導者養成直通／平日 10:30～17:00）

E-mail jba-coach@basketball.or.jp